

隔月連載コラム

「孫さん、
ウェルビーイングって何ですか？」

皆生温泉エリアで目指す「ウェルビーイング」。映画製作や即興劇、路上での健康相談など、様々な方法でウェルビーイングを高めるための活動を実践、研究する孫大輔さんに「ウェルビーイング」について連載していただいている。

地域全体の ウェルビーイングを考える

前回のコラムでは、個人のウェルビーイングについて、心理学者セリグマンのPERMA理論やアリストテレスの幸福(エウダイモニア)概念から、その意味を解説しました。個人のウェルビーイングは「快楽」の状態だけではなく、「人生の意義・意味」を感じられる状態にあるかといふことも関係するという話でした。

それでは、地域全体のウェルビーイングのような集合的なウェルビーイングについて皆さんには考えたことがあるでしょうか。例えば、自分の故郷や住んでいる街のウェルビーイングはどうでしょうか。「住みやすい街ランキング」なるものがありますが、「住みやすい」地域というのは一体どうしたことなのでしょうか。

地域住民のウェルビーイングを快楽的な要素と幸福(エウダイモニア)的な要素に分けて

分析した論文があります。その結果、快楽的ウェルビーイングは、余暇があるか、人間関係・家族関係が良好かということと関連しており、エウダイモニア的なウェルビーイングは、仕事が充実しているか、就職できているかといったことと関連しているという結果でした。つまり、地域のウェルビーイングは地域住民同士のつながりや仕事の充実度などに左右されそうです。また、都道府県ごとにウェルビーイングを比べてみると、沖縄県と奈良県がとても高く、この2つの県の特徴として地域の「寛容性」が高いということが挙げられました。これは「他者の多様な生き方に対して地域がどのくらい寛容か」ということです。

「寛容性が高い地域」とは、そこに住まう人々がどんな生き方をしていても、それを適度に放置して見守ってくれる社会と言えそうです。これと関連する別の研究結果があります。日本で一番自殺率が低い町(徳島県旧海部町)を調査

した研究では、「ゆるいつながり」という特徴が挙げられました。具体的には、隣近所の付き合いは「挨拶程度」で、必要以上に介入しない。他人の評価は「人物本位」で、家柄や地位・肩書で評価しない。しかし困った人がいるときはいつもでも援助をさしのべる。この町には、他者に対する寛容性がありながらも、ほどよい「おせっかい」が存在する、そんな特徴があるようです。

「ウェルビーイングな地域」をいかにつくっていくかというのは、簡単なことではありませんが、こうした「寛容性」や「ゆるいつながり」、ほどよい「おせっかい」というキーワードを軸に考えていくと良いのかもしれません。

参考文献

- 有馬雄祐. 地方創生のための寛容性と幸福の分析.(地方創生のファクターX: 寛容と幸福の地方論). LIFULL HOME'S 総研. p.96-115, 2021.
<https://www.homes.co.jp/souken/report/202108/>
- 岡檀. 生き心地の良い町: この自殺率の低さには理由(わけ)がある. 講談社, 2013.

エリア経営だより

このコーナーでは、毎月の「皆生温泉エリア経営実行委員会」定例会の内容を一部お伝えしていきます! まだまだ未定のこぼれ話も楽しんでくださいませ!!

特報!! 2023年度グッドデザイン賞を受賞しました!!

皆生温泉エリア経営実行委員会、カイケラボの取り組みが2023年度グッドデザイン賞を受賞しました! 信号が無く、ウォーカブルな皆生温泉エリアの特性を活かした社会実験「ぐるぐるかいけ」や、毎月のゆるやかな交流会「水一広場」、海沿い遊歩道に官民敷地の境界を越え設置された共用空間、まちに関わるきっかけをつくる「エリアデザインスクール」、「カイケラボ」というエリアマネジメントの視点を持った組織づくりなど、いろいろな動きが連携しながら同時多発的に起こっていることが評価されての受賞です。今後も地域の皆さん、皆生に関心のある皆さんと一緒に皆生を盛り上げたく!! 引き続きよろしくお願ひします!



GOOD DESIGN
AWARD 2023

連載インタビュー

カイケを動かす人

皆生温泉エリアで活躍する様々な人へインタビューをしています。

今月は、

「纏(まとい)／かまくら」
オーナー・安井丈晴さん

にご協力いただきました!!



Q: 安井さん、まず最初に、ご自身について教えていただけますか?
安井さん: はい、もちろんです。私はもともと関西でサラリーマンをしていました。自然や海が大好きで、サーフィンをすることが私の瘾でした。その想いから、海の近くで暮らしたいと思い、転勤願いを出し、約6年前に鳥取県へと転勤してきました。

Q: 鳥取県への転勤が、新たなステージの始まりだったのですね。どのような経緯で、皆生温泉エリアでお店を展開することになったのですか?

安井さん: そうですね。鳥取県は自然や人の心が美しい場所で、私の心を豊かにしてくれました。サラリーマンで働き続ける人生を考えた時、早期退社をして、米子へ移住しのんびりとした生活を送ろうと思いまして…そのまま実行に移して、米子へ移住してきたんですよ(笑)移住生活を楽しんでいたある日、「水木しげるロードでの空き店舗で何かしてみないか」というお話をいただいた。当初、お店を開く予定はなかったのですが…(つづきはwebへ)



カイケラボWebで全文をご覧ください

KAIKE PRESS

皆生温泉のこれからを伝えるメディア
「カイケプレス」

2023Sep. 18

第18号／令和5年10月発行



特集

「歩いて楽しいまち」へ 向かう米子市、皆生はどんなまち… 車が無くても移動しやすく、人が歩き、賑わいが生まれ…楽しいまちになっていく



去る、令和5年7月22日、米子コンベンションセンターにて『歩いて楽しいまちづくりシンポジウム』が開催され、伊木市長により『歩いて楽しいまちづくり宣言』が行われました。

宣言では、「米子市では、まちなかを「車中心」から「公共交通と歩行者中心」の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へ生まれ変わらせることを目指しています。これからの未来のため、車への過度な依存から脱却し、車がなくてもまちなかや郊外で生活できる誰もが暮らしやすいまちづくりを進めています。ここ米子に集う人々が「歩いて楽しい」を実感できる街の実現のため、市民、企業、行政が連携した「歩いて楽しいまちづくり」を取り組むことを宣言します。」とされ、大胆な変革を感じさせるものです。

わたしたちの皆生では既に、「ぐるぐるかいけ」で、空き地で催しをしたり、あまり使われていない公園に屋台を出店したりして、歩いて楽しめるまちの実験を開催。空きスペースを賃貸駐車場化できるakippaを推進して、車を停めて歩けきやすい環境づくりも進めています。海岸遊歩道の街灯を刷新も、夜のまちを歩きやすくする取り組みです。歩いて楽しいまちへ、実は進んでいっているのです。

では、そもそもなぜ“歩いて楽しい”ことが、今、まちに重要なのでしょうか?車中心のまちづくりで、様々な失われたことを考えてみましょう。

- 車中心のまちづくりでは移動が点と点になり、まちなかを歩く人が減り、街は寂れ、にぎわいが減っていった
- 店舗は、広い駐車場が必要となり、郊外へ出店が進み、まちなかには空き店舗・空き地が増え、更に街の魅力が低下
- 小さな商店が減り、まちは画一的になり、公共交通は利用者数が減ったことで維持が難しくなり、車以外では移動がしづらくなり、暮らしづらいまちに…

“豊かさ”は人それぞれでしょう。でも、空き店舗ばかりで、移動手段が限られ、日々の買い物も大変で、歩いて近所に行く理由もない…そんな暮らしは楽しいでしょうか?豊かでどうか?それが歩いて楽しいまちになると…



予約で確実! 便利!!
エリア内100台以上!!!

皆生温泉で遊ぶなら駐車場はアキッパ!!

〈広告募集中〉このスペースでお店や会社のPRしませんか 毎月4,000部発行

わたくしのまちづくりでは、歩く人が増え、街は活気があり、にぎわいが生まれ、大きな店が取り扱わないような個性的な事業も可能となり、魅力的なまちになる

公共交通が今より使われると収益が出て維持しやすくなる。公共交通がしっかりと維持できると運転免許を返納しても、

● 免許が無くても移動しやすくなる
高齢者や未成年にももっとやさしいまちになる
● 歩くことは、健康寿命延伸にもつながる
● むらしやすく住みたくなるまちで、人口減少、少子高齢化などの問題解決にもつながる

まちのみんなが笑顔で、楽しく、豊かなまちが見えてきますね。そんなまちには、観光にも訪れたくなります、移住したくもあります、どんどん豊かなまちになることでしょう。

さあ、わたしたちの皆生は、どんなまちを目指しましょう?



写真はすべて以前に開催した『ぐるぐるかいけ』当日の様子です。
歩く人が増えると、生まれる風景、ありますよね。

きてみてカイケ



「歩いて楽しいまち」の実証実験 11月のぐるぐるかいけは11月25日[土]開催!

皆生温泉のメインストリート四条通りが特別に子供たちのための「キッズストリート」に!松林でオモシロ体験・ミッションクリアでお宝ゲット・子供たちによる子供たちのためのキッズマーケットなど開催予定!

写真は以前のぐるぐるかいけ開催時のイメージです

「ぐるぐるかいけ」
公式Instagramは
こちら



水一広場11月開催! スイッチインタビュー
11月1日[水] 17:00-20:00

※時間は変更となる可能性がございます。

場所:未定

内容:11月の水一広場も、皆生にかかる方をゲストにお招きし公開インタビュー!!皆生に対する「現在・過去・未来」とは…?会場で飲食や交流をしながらお楽しみください!!